

地域連携の推進に向けた事前アンケートの回答

東京都保健医療局医療政策部

事前アンケートの結果（区西北部）

病院としての主な機能別の回答状況

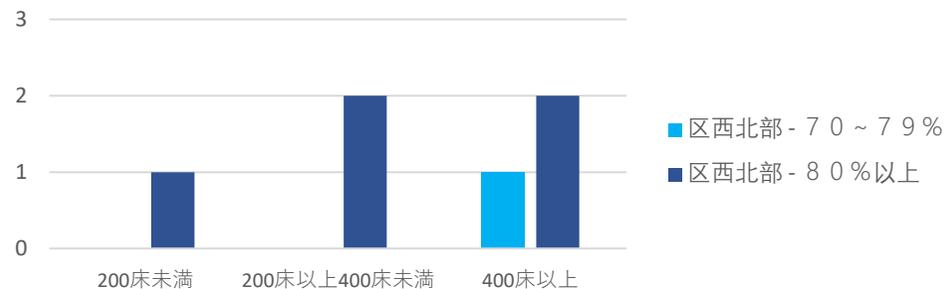
病院としての主な機能	病院数
高度急性期	3
急性期/サブアキュート	5
回復期/ポストアキュート	3
慢性期	4
ケアミックス（急性期・回復期）	4
ケアミックス（回復期・慢性期）	0
その他	3
計	22

許可病床数別回答病院数

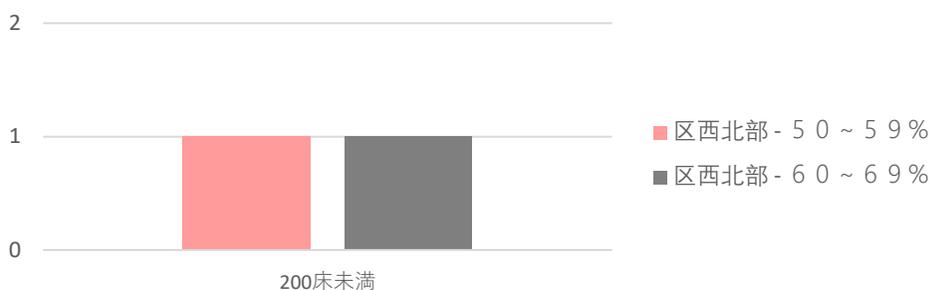
許可病床数	病院数
200床未満	13
200床以上400床未満	4
400床以上	5
計	22

■ 病床機能別稼働率【許可病床の規模別】

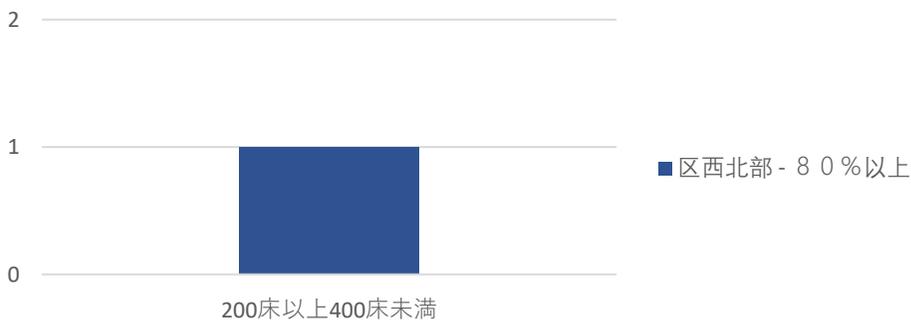
急性期 1



急性期 2・3

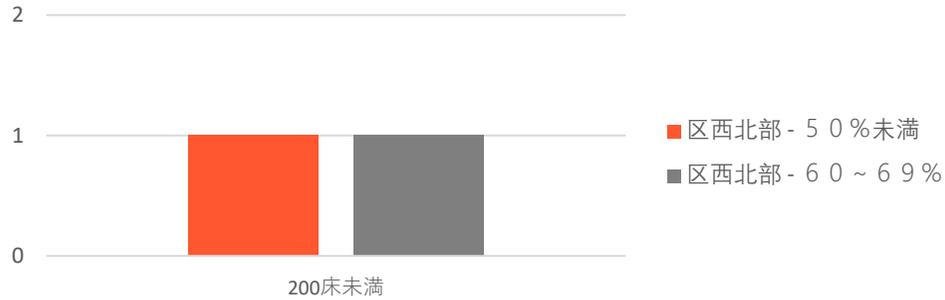


急性期 4～6



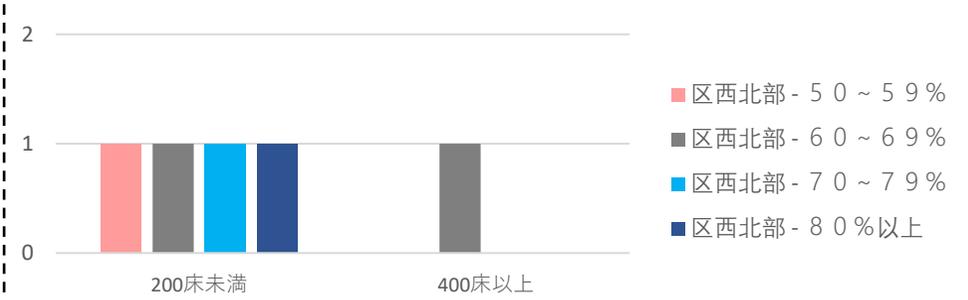
事前アンケートの結果（区西北部）

地域一般 1～3



地域包括医療

地域包括ケア 1・2

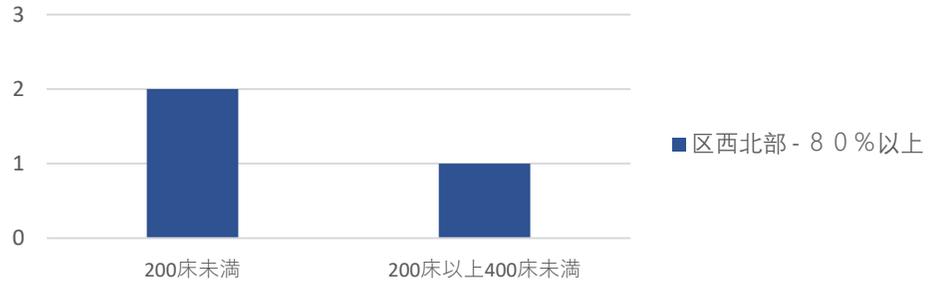


地域包括ケア 3

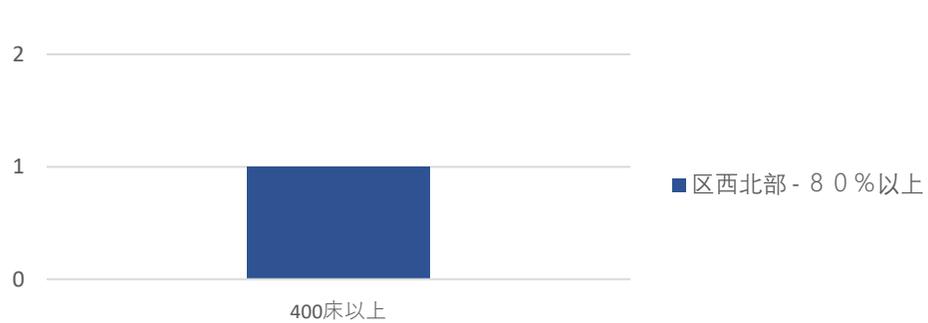
地域包括ケア（療養病床）

事前アンケートの結果（区西北部）

回復期リハ1・2

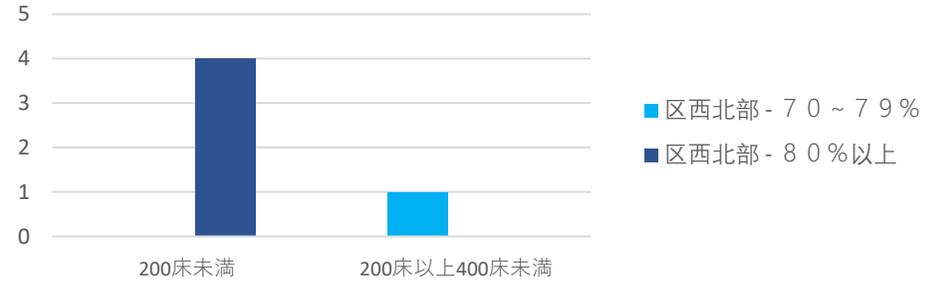


回復期リハ3・4

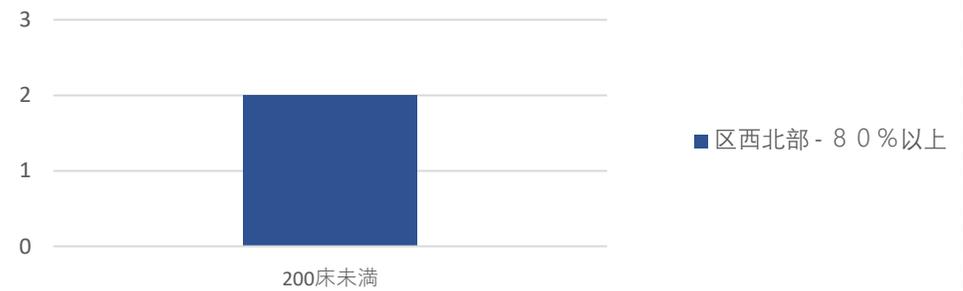


回復期リハ5

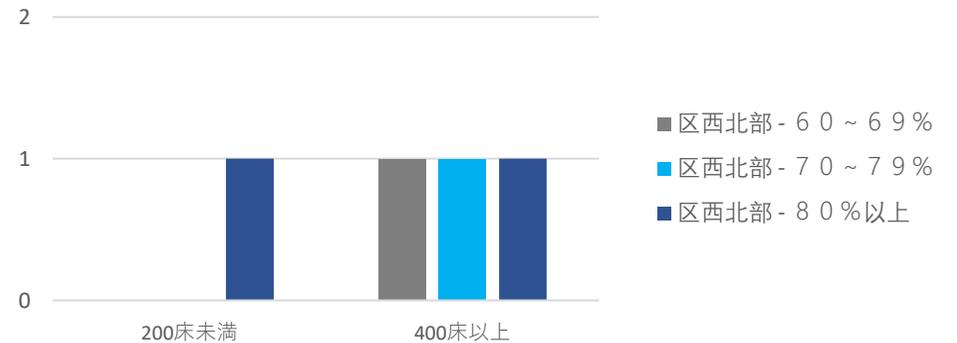
療養病床



介護医療院

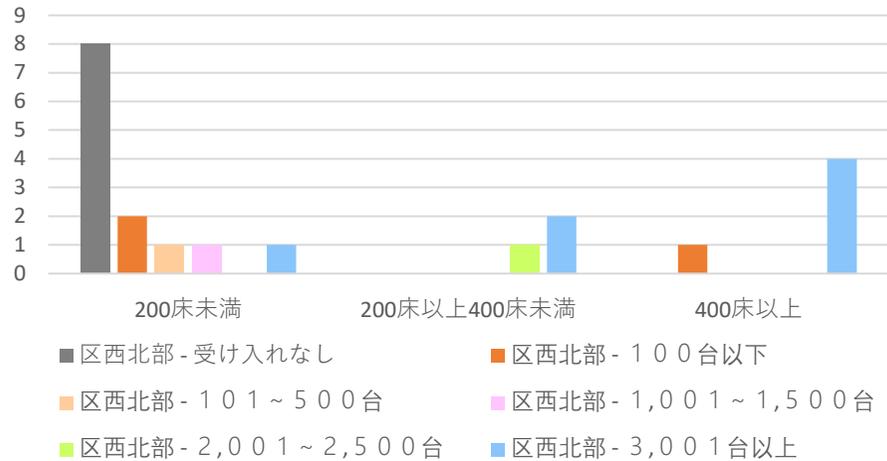


その他（精神病床、障害者施設等病床）



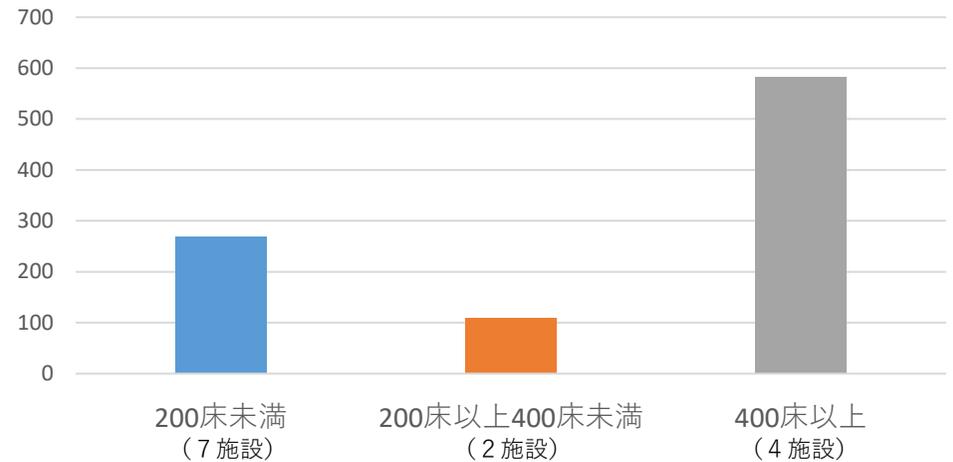
事前アンケートの結果（区西北部）

■ 令和5年度救急車受入台数

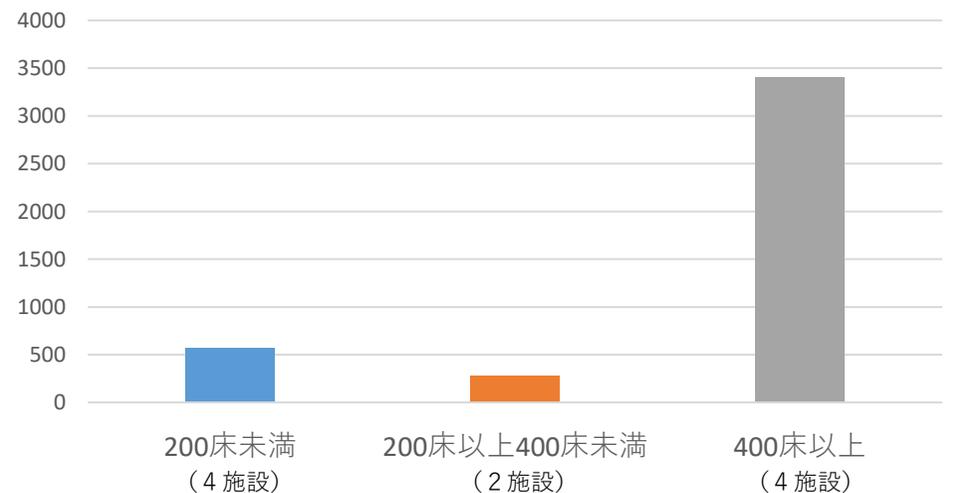


■ 令和5年度地域連携入退院患者数

転院上り（人／年）（合計）



転院下り（人／年）（合計）



事前アンケートの結果（区西北部）

■ 連携等に関する影響について

《緊急搬送・予定転院》

平日・日昼の緊急搬送において、相手先の病院と円滑になされていると思いますか。
(全く思わない) (すごく思う)

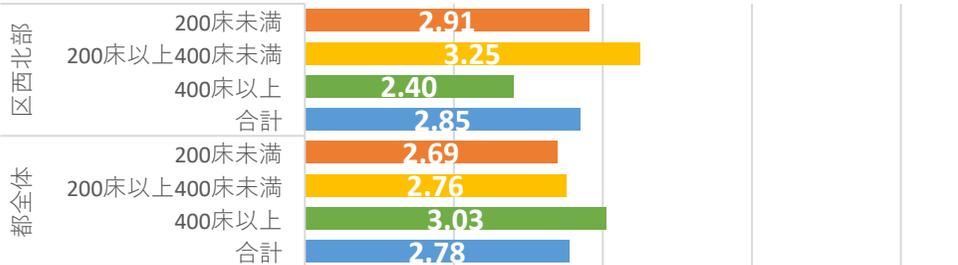
1 2 3 4 5



休日・夜間の緊急搬送は相手先の病院と円滑になされていると思いますか。

(全く思わない) (すごく思う)

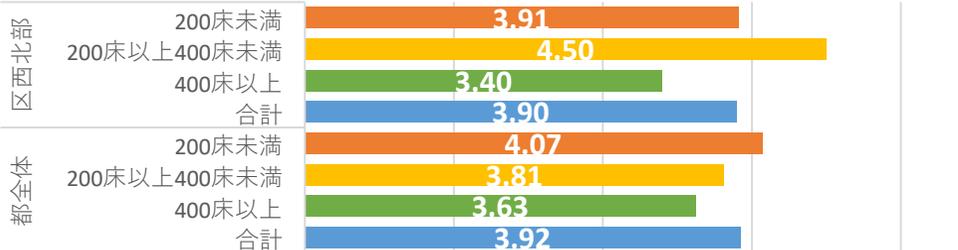
1 2 3 4 5



予定転院において、相手先の病院と円滑になされていると思いますか。

(全く思わない) (すごく思う)

1 2 3 4 5



《受入側としての要望》

早期の転院を（迅速に）受け入れするに当たり、診療科を絞れば受け入れは可能と思いますか。
(全く思わない) (すごく思う)

1 2 3 4 5



早期の転院を（迅速に）受け入れするに当たり、患者の重症度を限定すれば受け入れは可能と思いますか。

(全く思わない) (すごく思う)

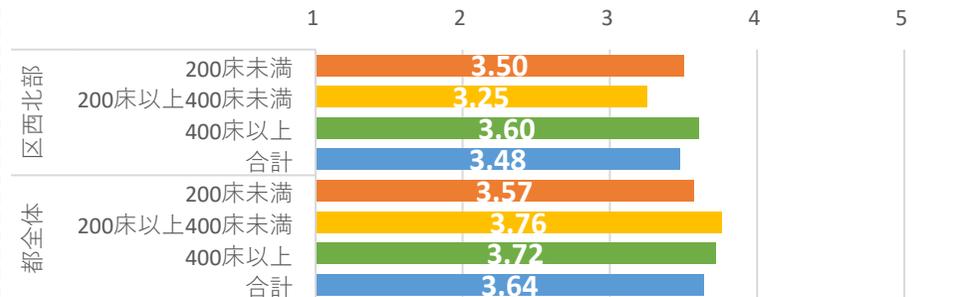
1 2 3 4 5



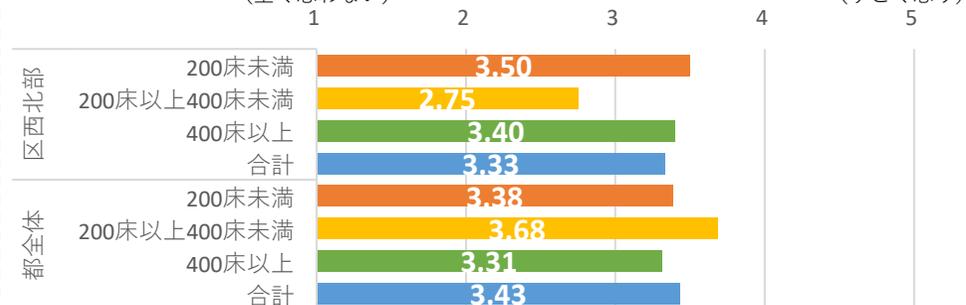
事前アンケートの結果（区西北部）

《自院の課題》

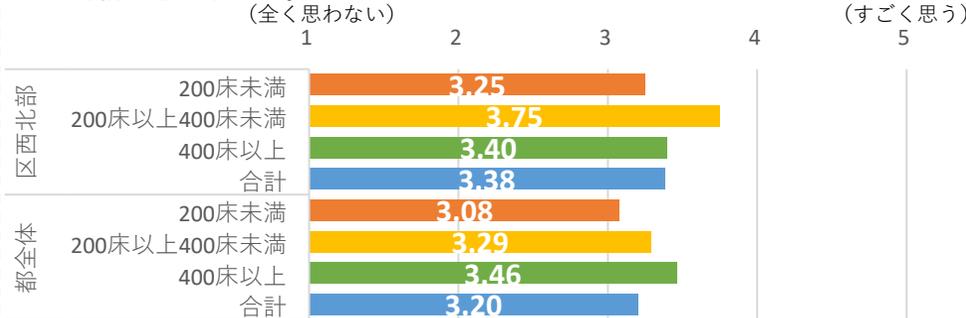
自院の医師が潤沢であれば、積極的に受け入れることが可能と
 思いますか。
 (全く思わない) (すごく思う)



自院の医師以外の職員が潤沢であれば、積極的に受け入れることが可能と
 思いますか。
 (全く思わない) (すごく思う)

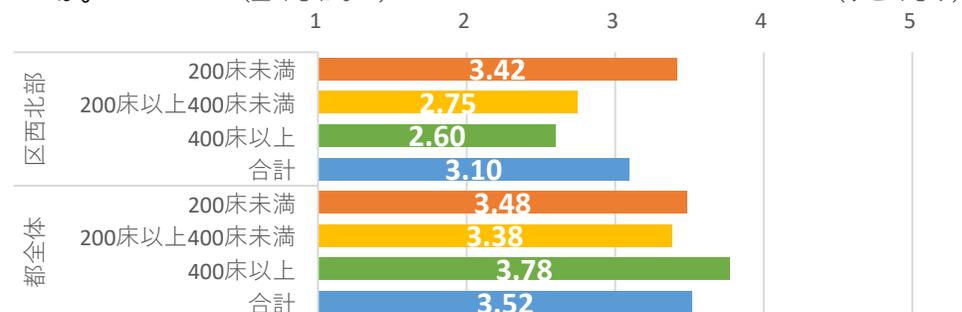


自院のベッドコントロールが改善されれば、積極的に受け入れることが
 可能と
 思いますか。
 (全く思わない) (すごく思う)



《患者側の課題》

患者側の理解さえ早く得られれば、早期に転院させることが可能と
 思いますか。
 (全く思わない) (すごく思う)



患者家族の理解さえ早く得られれば、早期に転院させることが可能と
 思いますか。
 (全く思わない) (すごく思う)

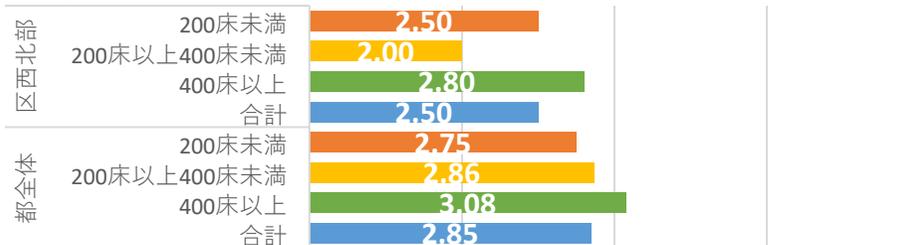


事前アンケートの結果（区西北部）

《下り転院の問題（主に急性期病院が回答）》

過去に病状が落ち着いたことで転院した患者が、悪化等で再び自院に戻ることがありますか。

(全くない) 1 2 3 4 (すごくある) 5



過去に様々な病気を抱えた（複雑な）患者を転院させるにあたり、転院先がなかなか決まらないことがありましたか。

(全くない) 1 2 3 4 (すごくある) 5



《下り転院の問題（主に回復期・慢性期病院が回答）》

過去に病状が落ち着いたことで転院された患者が、悪化等で再び前医に再入院されたことがありますか。

(全くない) 1 2 3 4 (すごくある) 5



過去に急性期病院から様々な病気を抱えた（複雑な）患者の転院依頼があった際に、お断りしたことはありますか。

(全くない) 1 2 3 4 (すごくある) 5



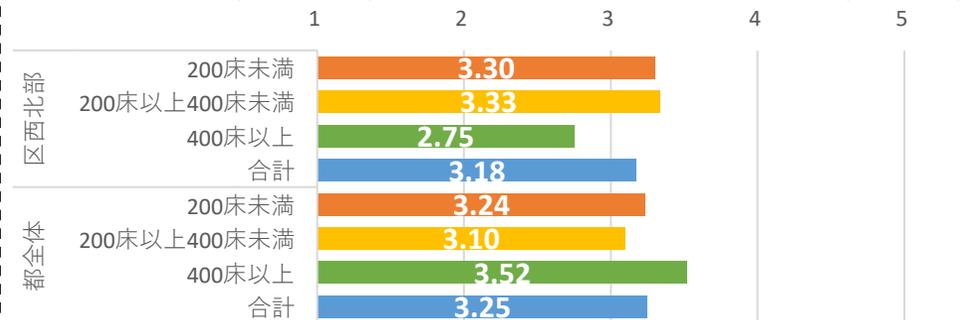
事前アンケートの結果（区西北部）

《連携の進捗度》

平成28年の地域医療構想策定当初と比べて、全体的に地域での連携が進んだと思いますか。

(全く思わない)

(すごく思う)



■ 連携等に関する影響への対応

自院や地域として対応している取組

- ・ 迅速な回答を心掛けている
- ・ 医師の交流や連携部の訪問数を増やしており、顔の見える関係づくりを強化している
- ・ 定期的な連携会議を行なっている
- ・ 常勤医師への周知徹底
- ・ 近隣病院（紹介先）への院内情報提供。院長の訪問・挨拶・消防機関との連携強化
- ・ 精神科医療地域連携事業を都から受託していること、また認知症疾患医療センター地域連携型を受託していることからそれら事業を推進するための連携活動や広報、啓蒙活動をしている。
- ・ なるべく迅速に受けることに努めている。
- ・ 地域連携室の拡充
- ・ スムーズな下り転院のために「脳卒中リハビリほっとライン」（脳卒中地域連携）の構築
- ・ 透析の転院先確保のための訪問活動

事前アンケートの主な意見（区西北部）

■ 自院や地域として対応していくべき取組の考えやイメージ

- ・各病院、それぞれの役割をお互いに把握していく事
- ・FAXで電話を中心としたやり取りを少なくしていく
- ・積極的な受け入れ
- ・逆紹介が大切
- ・精神疾患をベースとなっている患者の身体疾患急性増悪をスムーズに受け入れできる体制整備をお願いしたい。
- ・区西北部は精神科への理解が進んでおり、連携はうまくいっている方だと思う。
- ・練馬区は人口当たり病床数が依然として低い
- ・特定の診療領域（当院では脳神経）の強化が必要
- ・（上り転院）特に夜間休日の救急外来からの転送ケースの困難さ：救急当番医が打診担当しており、かかりっきりになることで他患者受入に影響し、転送になりそうな患者の受入に消極的となりお断りに繋がってしまう
- ・社会調整を要する患者の退院支援：生活保護には至らないが、療養にかかる費用負担が難しいケース・キーパーソン不在で転院に関する諸手続きが難航する

■ 地域連携の推進についての意見

- ・情報連携における個人情報の問題は早々に解決してほしい。
- ・一般病院における精神科への理解が必要であり、精神科病院も身体的治療のキャパシティを上げるべき
- ・社会的背景（判断能力のない身よりのいない方）に、問題を抱えている患者さんへの支援を地域で取り組める流れがあると良いと思う。